

第2回浜田市再犯防止推進計画策定専門部会 会議録

会 議 名	第2回浜田市再犯防止推進計画策定専門部会
開 催 日 時	令和3年10月26日（火）10：30～11：45
開 催 場 所	浜田市役所第2東分庁舎 2階南会議室
会 議 の 担 当	健康福祉部 地域福祉課
議 題	1 住民アンケート結果の概要について 2 浜田市再犯防止推進計画の素案審議について
公開・非公開	公開（傍聴者0名）

【出席者】

委員 (9名)	金子 徹、笹岡 省三、谷垣 昌俊、山本 和之、長谷川 研、 山本 哲也、豊田 知世、向原 仙子、永妻（服部専門部会員代理）
浜田市 (7名)	猪木迫健康福祉部長、龍河子育て支援課長、新開旭支所産業建設課長、齋藤高齢者福祉係長、羽部雇用立地係長、下野住宅管理係長、吉村児童生徒支援係長
事務局 (3名)	藤井地域福祉課長、重田地域福祉係長、林主任主事

1 会議成立報告

9名中9名（代理1名）の出席により、委員の半数を満たす。

2 健康福祉部長挨拶

3 【議題1】住民アンケートの概要について

(1) 事務局説明

資料「再犯防止に関するアンケート調査結果について」に基づき、全体集計結果について報告。

(2) 専門部会員意見

専門部会員	現在、県内では島根県及び県内4市で計画が策定されているが、住民アンケートを実施して計画策定を行っている自治体はないと思う。感想であるが、このアンケートを踏まえて計画が策定出来れば、よりよい計画になると期待する。
-------	---

4 【議題2】浜田市再犯防止推進計画の素案審議について

(1) 事務局説明

資料「浜田市再犯防止推進計画（素案）」に基づき、前回の計画骨子案からの変更点を主に説明。

(2) 専門部会員意見

第2回浜田市再犯防止推進計画策定専門部会 会議録

専門部会員	(議題1に係る) 大学側で分析等を行っているとのことであるが、その結果を計画書に記載することは可能か。
事務局	可能とは考えるが、当専門部会への審議伺い、議会への報告、パブリックコメントの実施等を考えると、大学側の結果報告が可能なタイミング次第であると思う。この点については、大学側と個別に協議させていただきたい。

専門部会員	市営住宅の受け入れについて、すでに連帯保証人を不要とする整理がなされたことから、すでに実施している事項を計画から削除する案を提示されているが、確かに連帯保証人は不要となったが、身元引受人は求められており、まだまだ入居がしやすいように環境整備することは必要ではないかと思うため、例えば「さらに住宅要配慮者が入居しやすい環境整備に努める」など入れてはどうか。
事務局	再度修正を加え、案を提示させていただく。

専門部会員	重点課題としての「④犯罪をした者等の特性に応じた効果的な指導の実施等」についてであるが、市の立場とすれば「指導」ではなく「支援」が良いと思う。
事務局	修正を行う。

専門部会員	本計画が地域福祉計画と一体的な計画とされた場合、計画の体系としては、福祉関連計画となるのか。
事務局	法で規定される計画として策定を行うため、福祉のみに係る計画ではない。地域福祉計画と一体的な計画とした場合でも、同様な体系図を示すと考えている。

専門部会員	島根県の再犯防止推進計画について、計画期間年度が誤っていると思われる。
事務局	修正を行う。

専門部会員	島根県の刑法犯検挙者中の再犯者数及び再犯者率は、令和元年度は52%と表記しており、浜田市の素案では54.7%と表記されている。この差は少年を除くか除かないかということではないかと思うが、この点について疑問を持った。
事務局	矯正管区から犯罪統計に係るデータ提供については、少年を除くものの提供となるため、少年を除いていないデータは市では把握できないため、同じ指標で比較した図をお示ししている。しかしながら、データ入力等、今一度確認を行う。

第2回浜田市再犯防止推進計画策定専門部会 会議録

専門 部会員	アンケートでは、再犯防止推進に犯罪をした人等に対する支援ネットワークを作るという回答割合が高かったと考える。現在の計画では行政だけの連携視点の記載しかない。民間団体等の役割含め、さらに方針に盛り込めないか。
専門 部会員	この点について、民間企業においても独自の見守り活動などを行っていると聞いている。そのような取組との連携も、計画に必要ではないか。
事務局	すでに地域で行われている取組みなど、地域連携などについても考慮し、計画を修正し、専門部会員のみなさまにお示しさせていただく。

(3) 審議結果

本日の審議意見に対し、再度計画案を修正し、専門部会員へ提議する。

6 その他

なし